

「連載」 毎月1掲載

船釣りの作法

釣技
釣技
釣技

其の七 千葉県勝山港出船のスルメ&ヤリイカ
沖イカ釣りで一番大切なもの

東京湾口の沖ノ崎沖から南房総沖の水深150~200メートルを釣る

青く澄んだ海中から次つぎと現れては潮を噴き出し船内に取り込まれるスルメイカ、ヤリイカ。手早くさばかれ潮風になびく船上下。いわゆる「沖イカ釣り」は、独特の趣がある。

その沖イカ釣りの名手、松田竜也さんは、「イカ釣りで一番大切なことは、確実に仕掛けをさばくこと」と言う。

2月中旬の沖ノ崎沖。今や定番となつた早春のスルメイカ釣りは2ノットの速潮の中、30メートル近い深さを狙つた。

1波し1回投入、それも合図に遅れてしまうとイカが釣れないうえ、オマツリを誘発する。そんな中、松田さんは1杯ずつ、着実に数を重ねていく。

イカ釣りでは遅れずに投入すること、チャンス逃さない条件。そのために、潮回りの間にイカツノを投入時に確実に収めて準備をする。

◎松田竜也 マダイやタチウオ、カワハギなどにも精通するが、最も得意な釣りはイカ釣り。春先のマルイカ、夏のスルメイカ、冬のヤリイカ全てを把握している。